

## 2015年度前期 講義予定一覧

	年	月	日	氏名	所属1	所属2	所属3	役職	備考
<b>1. 医療における国際化の意義と現状</b>									
1	2015	4	15	中田 研	大阪大学	医学系研究科	国際・未来医療学/ 健康スポーツ科学	教授	国際・未来医療学講座/国際医療センターの取組み
2	2015	4	22	堀 信一	医療法人龍志会	ゲートタワーIGTクリニック		院長	クリニックにおける外国人診療の現状と課題
<b>2. 感覚器や中枢神経領域における先進医療・未来医療</b>									
1	2015	5	13	吉峰 俊樹	大阪大学	医学系研究科	脳神経外科学	教授	ブレインマシーンインターフェイス(BMI)-脳とコンピュータをつなぐ
2	2015	5	20	不二門 尚	大阪大学	医学系研究科	医用工学講座 感覚機能形成学	教授	眼科領域の医工連携(人工網膜を中心に)
<b>3. 医療通訳士の必要性和現状、今後の課題</b>									
1	2015	5	27	南谷 かおり	大阪大学	医学系研究科	国際・未来医療学	特任准教授	地域中核病院における医療通訳の現状と課題
2	2015	6	3	中村 安秀	大阪大学	人間科学研究科	グローバル人間学	教授	医療通訳士の必要性和重要性:言葉と文化の壁をこえて
<b>4. 未来医療へのステップ~遺伝子治療・知財保護・創薬</b>									
1	2015	6	10	金田 安史	大阪大学	医学系研究科	分子治療学講座 遺伝子治療学	教授	遺伝子治療を中心とした新たながん治療への取組み
2	2015	6	17	藤澤 幸夫	大阪大学	産学連携本部	知的財産部	産学連携教授	医学や医療における知的財産保護の考え方
3	2015	6	24	瀬尾 亨	Pfizer Inc.	ワールドワイドR&D	External R&D Innovation(ERDI)ジャパン	統括部長	創薬、産学連携、オープンイノベーション
<b>5. 海外の医療の実際~海外で医師や研究者として働くということ</b>									
1	2015	7	1	三島 伸介	りんくう総合医療センター	総合内科	感染症内科	医長	中国の医療の現状と課題~中国での臨床経験から
2	2015	7	8	Ken Suzuki	Queen Mary University of London	William Harvey Research Institute	Translational Cardiovascular Therapeutics	教授	英国における医学教育と医療;再生医療研究の現場から
<b>6. 高齢社会における医療の問題点と取組み</b>									
1	2015	7	15	森原 剛史	大阪大学	医学系研究科	情報統合医学 精神医学教室	講師	アルツハイマー研究の最前線
2	2015	7	22	木下 彩栄	京都大学	医学研究科	人間健康科学系専攻 在宅医療看護学分野	教授	認知症医療の現状と問題点、その対策について
<b>7. 国際医療ネットワークづくりに向けた取組み</b>									
1	2015	7	29	塚本 俊也	大阪大学	未来戦略機構	未来共生イノベーター 博士課程	特任教授	国際緊急医療支援と人道支援の現状と課題 I
2	2015	8	5	澤 芳樹	大阪大学	医学系研究科	国際・未来医療学/ 心臓血管外科学	教授/研究科長	国際・未来医療学のはじまり